

かながわの交通

2022
1月号

交通安全年間スローガン受賞作品 (内閣総理大臣賞)
～一般部門A～ 運転者 (同乗者を含む)へ呼びかけるもの

手を上げる 子どもはあなたを 信じてる



謹賀新年

富士山 (藤沢市片瀬海岸)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況 (令和3年12月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和3年		21,657	142	25,040
令和2年		20,630	140	23,904
増減数		+1,027	+2	+1,136
増減率		+5.0%	+1.4%	+4.8%

	総数	男	女
県人口	9,233,647	4,581,813	4,651,834
免許人口	5,645,301	3,210,202	2,435,099
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人



ホームページ

(県人口は令和3年12月1日、免許人口は令和3年11月末現在)

公益財団法人
神奈川県交通安全協会

会長 石坂 浩二



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、御家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。交通安全協会の諸活動につきまし

年頭ご挨拶

神奈川県警察

本部長 山本 仁



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。公益財団法人神奈川県交通安全協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

では、平素から深い御理解と多大な御支援、御協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

また、昨年中は前年に続いて新型コロナウイルス感染症の猛威の中でも工夫を凝らしつつ、県内の交通安全諸活動を推進していただきました県民の皆様をはじめ、県、県警察、関係機関・団体の皆様方に対し深く敬意と謝意を表する次第であります。

さて、昨年の本県における交通事故の状況は、発生件数、亡くなられた方、負傷された方は前年に比べて増加いたしました。亡くなられた方にあつては142人であり、第11次神奈川県交通安全計画の目標130人以下を上回ることであります。

交通事故の内容につきまして

また、旧年中は新型コロナウイルスの感染予防に配慮して「二輪車安全運転神奈川県大会」を開催していただくなど、交通安全活動や情報発信活動に御尽力いただきまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の交通事故情勢を顧みますと、人身交通事故の発生件数、亡くなられた方及び怪我をされた方のいづれにつきましても、令和2年に比べ増加となり、大変厳しい結果となりました。

このような交通情勢に鑑み、本年、県警察では、悲惨な交通事故を1件でも減少させるため、二輪車交通事

は、高齢者の方が犠牲になられた事故や自転車利用中の事故が増加し、二輪車関係事故も依然として多く発生しております。

特に、高齢者の方は全死者数の46%を占め、その内歩行中に亡くなられる事故が約半数となり、大変心配な状況になっております。

一人ひとりが基本的な交通ルールやマナーを守っていただくことにより、悲惨な交通事故を減少させることが出来ると思っております。

また、県、県警察、自治体、関係機関・団体、ボランティアの皆様方が一体となった、地道で且つ心に訴える、県民総ぐるみの交通安全活動がやはり重要であると再認識しているところであります。

神奈川県交通安全協会といたしましては、本年も皆様方の御協力を

故防止対策、横断歩行者交通事故防止対策及び自転車交通事故防止対策の3つの対策と、高齢者と子供の2つの対象を重点として、交通事故抑止につながる交通指導取締りや高齢者から子供まで幅広い年齢層を対象とした交通安全教育等を推進してまいります。

また、運転者に対しては、「二輪車の特性を踏まえた運転」や「横断歩道における歩行者優先の徹底」を、歩行者に対しては、「ルールを守った正しい横断」を、自転車に対しては、「自転車の交通ルール遵守と乗車用ヘルメットの着用促進」等についての広

頂きながら各地区交通安全協会と緊密に連携し

○ 子どもと高齢者を交通事故から守る各種活動の推進

○ 自転車の交通事故防止と安全利用の推進

○ 二輪車の交通事故防止に資する各種活動の推進

○ 飲酒運転等悪質運転・危険運転を根絶する活動の推進

を重点として、交通安全活動に積極的に取り組んでまいりますので、より一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症が終息し、皆様方にとりまして、明るく健やかな年となりますよう心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

報啓発活動を行い、広く周知を図ってまいります。

貴協会の皆様には、平素から地域における交通安全活動などに御尽力いただいているところであります。引き続き、県警察といたしましては、引き続き、連携を図り、各季の交通安全運動等における各種交通安全活動を推進してまいりますので、何卒御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も貴協会のますますの御発展、そして会員の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。



令和3年度交通栄誉章「緑十字金・銀章」及び交通優良団体等表彰

金章7名、銀章32名、5団体が受賞

1月26日(水)、開催予定であった「第62回交通安全全国国民運動中央大会」は中止となりましたが、(公財)神奈川県交通安全協会推薦の受賞者(団体)は次のとおりです。

★交通栄誉章「緑十字金章」

・交通安全功労者

- 北村 忠夫 (磯子)
- 鈴木 明 (平塚市)
- 大谷 隆 (足柄)
- 古谷 光一 (秦野市)
- 鈴木 貴市 (相模原南)
- 天野 昭衛 (保土ヶ谷)
- 茂田 文夫 (小田原)

・優良運転者

- 高島 一義 (加賀町)
- 青木 八重子 (保土ヶ谷)
- 鈴木 正雄 (緑)
- 渋谷 裕孝 (青葉)
- 三ッ橋 耕三 (青葉)
- 渋川 正継 (瀬谷)
- 小原 弘 (川崎)
- 細谷 重徳 (川崎臨港)
- 鈴木 敏春 (高津)
- 山田 喜八郎 (宮前)
- 村瀬 明久 (横須賀)
- 鈴木 晴美 (浦賀)
- 柴田 吉光 (藤沢北)
- 小巻 賢一 (平塚市)
- 力石 邦男 (小田原)
- 大谷 隆 (足柄)
- 古谷 光一 (秦野市)

★交通栄誉章「緑十字銀章」

・交通安全功労者

- 高橋 貞二 (秦野市)
- 小原 孝二 (厚木警察署管内)
- 井上 功 (相模原)
- 霧生 純一 (相模原北)
- 遠藤 太嘉志 (鶴見)
- 金子 桂子 (保土ヶ谷)
- 藤江 美弘 (港南)
- 柴田 正雄 (青葉)
- 松本 康治 (泉)
- 関 みよ子 (川崎臨港)
- 塗木 操 (川崎臨港)
- 岸 良吾 (横須賀)
- 永島 功 (横須賀)
- 内田 幹子 (藤沢北)
- 久保 省三 (平塚市)
- 山崎 桂一 (小田原)
- 佐藤 由美子 (津久井)

・優良運転者

★交通安全優良団体

- 川崎市川崎区大師地区交通安全母の会

★交通安全優良学校

- 横浜市立小田小学校
- 神奈川県立有馬高等学校

★優良交通安全協会

- 瀬谷交通安全協会
- 田浦交通安全協会

交通栄誉章「緑十字金章」



鈴木貴市 (相模原南)



北村忠夫 (磯子)



天野昭衛 (保土ヶ谷)



鈴木明 (平塚市)



茂田文夫 (小田原)



大谷隆 (足柄)



古谷光一 (秦野市)

公益財団法人
神奈川県交通安全協会
専務理事
長 澤 嘉信



相模地区
交通安全協会連合会
会長 古 郡 保正



湘南地区
交通安全協会連合会
会長 山 口 幸雄



三浦半島地区
交通安全協会連合会
会長 岡 昌憲



一般社団法人
川崎市交通安全協会
会長 關 進



一般財団法人
横浜市交通安全協会
会長 板 橋 悟



公益財団法人
神奈川県交通安全協会
会長 石 坂 浩二



新春のお慶びを
申し上げます



令和3年度「交通安全優良学校」の紹介

◎ 横浜市立小田小学校（横浜市金沢区富岡西1-69-1）

〔沿革等〕

横浜市立小田小学校は、平成3年4月に磯子区に隣接する丘陵地に富岡小学校、上中里小学校、梅林小学校から分離して開校し、今年30周年を迎えた学校です。

教育目標は、「課題の解決に向けて根気強く取り組む」「心と体を鍛える」「地域の人やものを大切にする」ことなどを掲げ、教員35名が600名の児童の育成に取り組んでいます。

〔功績の概要等〕

交通安全教育に関しては、教職員とPTA・地域住民が一体となり、登下校時の見守り活動・通学路の点検・交通安全教室など熱心に取り組んでいます。

また、平成18年から開催している「金沢区自転車マナーアップ三世代大会」に第1回目から連続出場し、そのうち7回優勝し、平成29年には金沢区の代表として「交通安全子ども自転車神奈川県大会」に出場し、準優勝するなどの功績をあげています。

本年は、県大会が昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、緊急事態宣言が解除された11月に地区大会を開催しました。その結果、今回も小田小学校が練習の成果を遺憾なく発揮して5連覇を遂げました。来年も金沢区の代表として県大会に出場し、上位入賞することを目指しています。



◎ 神奈川県立有馬高等学校（海老名市社家5-27-1）

〔沿革等〕

神奈川県立有馬高等学校は昭和58年(1983年)に開校した、全日制普通科の高校です。校名はかつてこの地に存在した村名の有馬村に由来します。「伸ばす∞学力・知力 育つ・育てる∞無限大」をスクールモットーに、「チャレンジ精神を持ち、未来を切り拓く人間」を育成することを教育目標に掲げ、学校教育に取り組んでいます。海外姉妹校・ユネスコスクールとの交流や留学生受け入れなど、国際教育を積極的に推進し、グローバル社会を自立してたくましく生き抜く人材育成を目指しています。学校行事も盛んで、少林寺拳法部は毎年全国大会に出場しています。



〔功労の概要等〕

コロナ禍に入るまでの約10年間、本校の野球部・ダンス部・陸上部・女子サッカー部等が海老名駅周辺で、年3回交通安全キャンペーンに参加しました。野球部マネージャーが街頭キャンペーンの総合司会を務めたり、ダンス部がダンスを披露するなど、地域の交通安全活動に積極的に取り組んでいます。

神奈川県警察交通事故防止対策

昨年の県内の交通事故情勢は、人身事故発生件数、怪我をされた方、亡くなられた方はいずれも前年に比べて増加となり、大変厳しい結果となりました。

県警察では悲惨な交通事故を1件でも減らすため、令和4年は「交通事故防止対策」として

- ① 二輪車交通事故防止対策
- ② 横断歩行者交通事故防止対策
- ③ 自転車交通事故防止対策

の対策と高齢者と子供、2つの対象を重点とした取組を強化します。



さらに、事故分析結果に基づいて対策期間を設定し、交通街頭活動や関係機関・団体と連携した広報啓発活動などの取組を強化する「県内一斉5日間対策」などを推進します。

令和3年度「年末の交通事故防止運動」の実施結果

令和3年12月11日(土)～12月20日(月)の10日間

運動期間中の交通事故発生(概況)は、昨年と同じ時期と比べて発生件数、負傷者数は減少しましたが、亡くなられた方は増加しました。

◇期間中の県下の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
本年	717	8	812
前年同期比	-39	+4	-102

2022交通安全カレンダー

(公財)神奈川県交通安全協会では、今年も「2022年交通安全カレンダー(令和4年)」を作製しました。

表紙には、みなとみらい地区の風景をイメージ

各月に交通安全スローガンや交通事故防止ワンポイントアドバイスなどを掲載し、表中には各季の交通安全運動や交通安全活動の日、交通死亡事故計上関係と県警察官の三交代制当番日を載せております。



令和4年使用 交通安全年間スローガン決定

～ 応募総数は45,437点 ～

全日本交通安全協会と毎日新聞社が主催し、内閣府、警察庁等の後援により募集している交通安全年間スローガン(令和4年使用)が決定しました。

関係機関・団体の関係者による審査の結果、一般部門A、B及びこどもの各部門で内閣総理大臣賞、内閣府特命担当大臣賞、警察庁長官賞がそれぞれ3点、こども部門で文部科学大臣賞1点、全日本交通安全協会会長賞(佳作)10点が選ばれました。

☆ 一般部門A：運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
手を上げる 子どもはあなたを 信じてる 宮崎県延岡市 椎屋 祐一
- 内閣府特命担当大臣賞
ゆるさない ハンドル・スマホの 二刀流 東京都東村山市 安田 寛
- 警察庁長官賞
知らせ合う 早めのライトと 反射材 東京都豊島区 梶浦 公靖
- 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
通学路 速度を落とす 思いやり 千葉県市川市 小田中 準一
おじいちゃん 今度は僕が 乗せる番 神奈川県横浜市 品田 康之
乗るのなら しっかりお酒と ディスタンス 大阪府豊中市 鈴木 昭博
「締めました!」乗る人みんなの 合言葉 北海道千歳市 廣瀬 美佳代

☆ 一般部門B：歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
スマホじゃない 見るのは前でしょ 周りでしょ 大阪府高槻市 横尾 伸子
- 内閣府特命担当大臣賞
自転車の すり抜け 飛び出し 事故のもと 神奈川県川崎市 加藤 晴美
- 警察庁長官賞
自転車も ルールを守る ドライバー 福島県耶麻郡 高久 清子
- 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
イヤホンで ふさぐな町の 声と音 東京都足立区 工藤 智也
反射材 主役になります 暗い道 東京都練馬区 井上 秀子
確認の 甘さが苦い 事故を呼ぶ 新潟県燕市 森山 勉

☆ こども部門：中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
とうげこう よそみ おしゃべり きけんがいっぱい 神奈川県横浜市立小雀小学校2年 杉山 心咲
- 内閣府特命担当大臣賞
反射材 光って目立って 金メダル 茨城県石岡市立杉並小学校3年 飯田 月捺
- 文部科学大臣賞
あぶないよ 青でもきちんと みぎひだり 茨城県境町立境小学校4年 平山 かれん
- 警察庁長官賞
手を上げて 運転手さんにごあいさつ 愛知県東栄町立東栄中学校2年 大林 佑
- 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
しんごうが まばたきはじめて はい!とまれ! 福岡県北九州市立曾根小学校3年 松田 瑚々
くらいとき じぶんをアピール ぴっかぴか 埼玉県久喜市立栗橋小学校1年 増田 珠花
ヘルメット かぶるだけでも 救える命 徳島県阿南市立福井中学校1年 大上 千尋

(敬称略)

インフォメーション

- 表彰審査委員会 2月18日(金) 県協会会館
- 企画・安全委員会 2月25日(金) 県協会会館

この人

189



（一財）旭交通安全協会
会長
小磯 守さん



明けましておめでとうございます。
昨年、弊会は法人に移行し一般財団法人旭交通安全協会となりました。今後ともよろしく願いいたします。

小磯会長は旭区で生まれ育ち、地域の様々な活動に参加し活躍されてきました。現在も鶴ヶ峰地区の獅子舞「笠囃子」を伝える活動をしている「笠はや志保存会」に所属し小学校や幼稚園、夏祭りなどで活動を行っています。

交通安全協会の活動に携わってからはすでに40年位経過するようで、きっかけは交通指導員をしていた友人の誘いだったそうです。

当時は大手家電メーカーにお勤めで、半導体の営業マンとして全国を飛び回っていましたが、小学校や地域での交通指導員の活動の重要性を痛感し積極的に参加したそうです。

会長は仕事や活動を通じて得たものは多くの出会いとおっしゃいます。「僕の

財産は人です。」「人を大切にすると自分も成長できる。また、自分の周りのことを見極められるようになった。」とのこと。

また、常に柔軟な発想力と行動力をもって、現在の交通安全協会を取り巻く環境はとても厳しいものがありますが、困難を打破すべく、様々なアイデアを持って、行政や各種関係団体等と積極的に協議交渉されています。そのような中でも各種交通安全教室や行事には必ず参加され忙しい毎日を過ごされています。

そんな多忙を極める中でも趣味のゴルフでお仲間との楽しい時間を過ごされているそうです。

今年がわが協会の創立50周年にあたります。記念すべき年に、また誰かとの新しい出会いを楽しみにしている事ですが、まずは健康に留意され益々のご活躍を願っております。

取材協力：（一財）旭交通安全協会

こんにちは
「都筑交通安全協会」です

都筑区は、横浜市 の北西部に位置し、緑区と港北区の一部を合わせて、平成6年11月に誕生し、人口21万人で15歳未満が15.2%で市内で一番若者が多い街になっています。

区内には、自動車専用道路第三京浜が走り、渋滞対策として横浜環状北線・北西線が、東名高速道路青葉インターから首都高速横羽線生麦インターを結んでいます。

交通の利便性が非常に良いため、大型の商業施設や大型マンションも多く、人口や買い物客の増加に伴い交通事故が懸念されます。

そこで、当協会は都筑区が誕生と同時に発足しましたが、平成12年5月、港北警察署から分かれて都筑警察署が完成した時に、事務所を警察署内に移しました。

現在は、三代目の加藤恒雄会長を筆頭に、役員や交通指導員警察署、区交対協、交通関係団体、町内会、老人会等の協力のもと、積極的に広報啓発活動を展開しています。

また、当協会が管理している、ゴリラ像「都筑まもる君」がいつまでも地域に愛されて続けるよう、塗装等の維持管理をしています。

昨年の区内交通事故死者数は、残念ながら3名で、警察



署や関係機関団体と協力し、悲惨な交通事故防止に努めるとともに、事務局は事務長以下4名の職員で、「親切、丁寧、笑顔」でボランティア活動に賛同していただける会員の加入に励み、今後も地域に根ざした交通安全活動を目指していきたいと思ひます。

（鳴原 記）

地区交通安全協会の活動紹介



厚木警察署管内 厚木中央公園での交通事故防止運動出発式



山手 警察署前での交通事故防止キャンペーン



津久井 川尻交差点での交通安全キャンペーン



南 弘明寺商店街周辺での交通安全キャンペーン



緑 鴨居駅周辺での交通安全キャンペーン



高津 武蔵溝ノ口駅前での年末交通事故防止運動



浦賀 京急久里浜駅前での交通安全キャンペーン



横須賀 横須賀中央駅前での飲酒運転根絶キャンペーン

交通安全活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 馬淵建設(株)横須賀本店 ————— 横須賀市米が浜通
- (株)井出運輸商事 ————— 横須賀市佐野町
- 相模運輸倉庫(株) ————— 横須賀市田浦港町

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。